

TOPICS 地域の指導者との連携強化に向けて

Hondaの交通安全普及の活動拠点となっている全国5カ所(栃木・埼玉・浜松・鈴鹿・熊本)の地区普及ブロックでは、Hondaの交通安全教育に共感していただいている各地域の指導者同士がお互いのノウハウを共有できるように様々な機会を提供している。以下、今年1月から3月にかけて、各地で開催された研修会、情報交換会、活動報告会を紹介していく。

1 ●東海・近畿地区交通安全教育指導員合同研修会

1月12、13日の両日、奈良県奈良市内のホテルで「東海・近畿地区交通安全教育指導員合同研修会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部鈴木鹿普及ブロック)が開催された。同研修会には三重県、奈良県、兵庫県、大阪府、滋賀県で活動している交通指導員37名が参加。18組が幼児や高齢者、自転車利用者への交通安全指導など、15分間の実演を行った。1つの実演が終わると、使用した教材やツールの作り方などについて、指導員同士で情報を交換し合った。

最後に主催者を代表して、鈴木鹿普及ブロックの宮崎光明ブロックリーダーが「私たちは皆様との連携を強固なものにして、地域に根ざした活動に取り組んでいきたい」と述べた。



三重県鈴鹿市の指導員が高齢者とその孫に扮した寸劇を通して、道路を歩く位置、信号機のない交差点を横断する際の注意点、夜間に反射材を身につけることの重要性を説明



兵庫県尼崎市の指導員は一人でもできるエプロンを使った子ども向けの人形劇を披露。信号機の色の意味をわかりやすく伝えた



大阪府旭区役所の職員は紙人形などを使って、交差点では信号機が青でも、右左折してくるクルマが確認することの大切さを訴求

2 ●北関東・東北エリア交通指導員情報交換会

1月27日、栃木県宇都宮市内のホテルで「北関東・東北エリア交通指導員情報交換会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部栃木普及ブロック)が開催された。同交換会には栃木県、山形県、茨城県、岩手県、秋田県で活動している交通指導員15名が参加。「記憶に残す交通安全指導」をテーマに、午前の部は幼児への指導、午後の部では高齢者への指導方法を報告するとともにより効果的な手法について意見を交換した。



主催した栃木普及ブロックの小林敏博ブロックリーダーは「皆様のお力を借りながら、私たちが提供している教材やノウハウを記憶に残りやすいものにし、より効果的な交通安全教育を実施できる環境を整えていきたい」と述べた。



栃木県芳賀町の指導員による絵本を使った幼児向けの交通安全指導。北国の春を歌いながら行う「手ぬい歌やクイズなどで子ども達が楽しく参加できる工夫を凝らしている



栃木県日光市役所の指導員による北国の春を歌いながら行う「手ぬい歌やクイズなどで子ども達が楽しく参加できる工夫を凝らしている



栃木県益子町役場の指導員による「涙そうそう」の替え歌。「命を大切にまた笑顔で会いましょう」というメッセージを込めて講習の最後に歌う

3 ●交通指導員情報交換会

3月15日、本田技研工業(株)埼玉製作所(埼玉県狭山市)で「交通指導員情報交換会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部埼玉普及ブロック)が開催された。同交換会には埼玉県内で活動している狭山市、入間市、所沢市、秩父市、飯能市、日高市の交通指導員23名が参加した。各地域の指導員は活動内容の報告とともに実際の交通安全指導を実演。質疑応答の時間には、実演で用いられた手作り教材の作り方など、実践的な質問や意見の交換が行われた。



飯能市の指導員による、老人向けの交通安全指導の様子。駐車車両のそばを自転車で通過する時の注意が盛り込まれている



入間市の指導員による交通安全指導の様子。手作りの自動車パネルを使ってチャイルドシートの重要性を指導している

総評として埼玉県警察本部交通安全企画課の佐久間芳春さんは「笑いあり、涙ありと、幼児や高齢者の興味・関心を引きつける工夫が随所に見られた実演ばかりだった。意見交換によって、さらなる指導力のレベルアップにつながると思う」と述べた。

4 ●関東・東北地区交通安全普及活動合同報告会



2月9日、埼玉県川越市内のホテルで「2011年度 関東・東北地区交通安全普及活動合同報告会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部埼玉普及ブロック・栃木普及ブロック)が開催された。同報告会には関東・東北地区のHondaおよびHonda関連企業災害防止協議会*2のインストラクターを中心とした53名が参加し、お互いの活動の成果を報告するとともに親睦を深めた。冒頭、千葉英雄・本田技研工業(株)安全運転普及本部事務局長は「地域とHondaやその関連会社が一体となった活動を今後も積極的に展開し、交通安全の輪を広げていきたい」と抱負を語った。



狭山市の指導員により、腹話術や「あやとり」※1「ひよこ編」などを活用した指導の実演が行われた

続いて、主催した埼玉・栃木普及ブロックが平成23年度の活動成果を報告。Honda関連企業災害防止協議会からは所属する各社の交通安全活動が紹介された。この他、狭山市交通指導員が幼児・小学生向けの指導を参加者に披露。最後に、吉田智春・埼玉県警察本部交通安全対策推進室長が「皆様の活動の成果が事故削減に著実につながっている」と総評を述べ、今後のさらなる活動の発展に期待を寄せた。

6 ●東海・近畿・中国・四国地区交通安全普及活動報告会

2月22日、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットホテルで「東海・近畿・中国・四国地区2011年交通安全普及活動報告会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部鈴鹿普及ブロック)が開催された。同報告会には三重県、奈良県、兵庫県、大阪府、滋賀県、岡山県、広島県、愛媛県、高知県の交通安全関係者および交通指導員、七日会*2のインストラクターなど87名が参加し、各々の活動について情報共有を行った。最後に、保田秀樹・三重県警察本部交通安全企画課課長補佐が「幼児から高齢者・保護者を含めた様々なHondaの参加体験型の安全教育は、非常に効果ある内容であり、今後もぜひ継続して活躍をお願いしたい」と総評を述べた。



岡山県津山市の指導員による「あやとり」ひよこ編の実演



5

●中部・東海地区交通安全普及活動報告会



情報交換会に出席した静岡県、愛知県、岐阜県の指導員の皆さん



2月10日、静岡県浜松市内のホテルで「平成23年度交通安全普及活動報告会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部浜松普及ブロック)が開催された。同報告会には静岡県、愛知県、岐阜県の交通安全関連団体代表者および交通指導員、さつき会のインストラクターなど120名が参加し、各々の活動内容を発表。最後に、山下晴久・静岡県警察本部交通安全企画課長が「Hondaの交通安全教育プログラムや教育活動が着実に地域の交通安全活動につながっている」と総評を述べた。この日は報告会に先立ち、静岡県27地区、愛知県2地区、岐阜県4地区の交通安全指導員を対象とした情報交換会も行われた。

※1 あやとり＝Hondaが三重県鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。幼児～小学校低学年対象の「あやとりい ひよこ編」、小学3～4年生対象の「あやとりい」、幼児～小学校高学年対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりい 長寿編」がある。あやとりいは「あぜんを やさしく とときあかし りかいて いただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。 <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>
※2 Honda関連企業災害防止協議会、さつき会、七日会は、Hondaの関連企業からなる組織。